

情報公開文書

研究の名称	Dual Energy CT による Hyperdense MCA sign の有用性
整理番号	
研究機関の名称	富山大学付属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学学術研究部医学系 放射線診断・治療学 教授 野口京
研究の概要	<p>【研究対象者】 富山大学付属病院における2015年5月から2024年12月の間にDual Energy CT にて撮像された 24 時間以内の急性期脳梗塞症例。</p> <p>【研究の目的・意義】 Hyperdense MCA sign に関してDual Energy 技術を利用して最適なkeV 画像およびCT の厚みなど最適な再構築画像を作成することにより単純CT にて血栓回収療法の適応に寄与できるかどうかを評価することを目的とする。Dual Energy 技術を利用することにより最適な画像を作製することができれば有用であると考えられる。</p> <p>【研究の方法】 コンピューターによるシミュレーションにて新しいCT 画像解析処理法を開発し、Dual-Energy CT (SOMATOM Force, SIMENS 社) にて頭部CT を撮像する。診療記録から対象症例の年齢・性別・傷病名、傷病期間などの臨床情報を調査し、画像解析処理にてDual-Energy CT 画像を再処理することで新しいCT 画像を作成し新しいCT 画像の臨床的有用性について検討する。</p> <p>【研究期間】 2021 年 5 月 6 日 ~ 2024 年 12 月 31 日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 医学雑誌・学会での発表にて公表を予定している。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	<p>【診療目的で取得・保有する診療情報】 年齢、性別、傷病名、傷病期間、医療画像</p> <p>【研究の実施に伴って取得する情報】 CT 画像</p> <p>【他機関への提供】 無</p>
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学学術研究部医学系 放射線診断・治療学 教授 野口京
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7326</p>

FAX 076-434-5031

E-mail kyo@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系 放射線診断・治療学 教授 野口京